

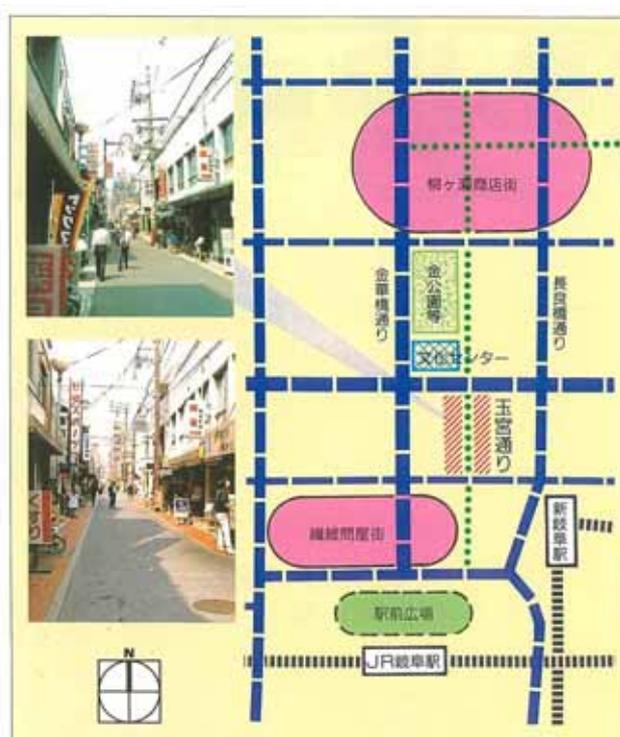
まちづくり協定による玉宮通りのまちづくり～岐阜市玉宮通り～

沿線土地所有者が建物を新築する時に 1.5m セットバックするとともに、緑化、半地下の設置、建物でデザインの向上を図ることなどを盛り込んだ「まちづくり協定」を締結し、若者中心のまちへ改善が進められ、賑わいが復活しています。

【岐阜市の中心商店街の活性化が課題に！】

当地域は、ターミナル空間である岐阜駅周辺地区と繁華街の柳ヶ瀬地域との間にあって、戦前・戦後に駅前通りの商店街として栄えていたが、モータリゼーションの発展や都心部の人口減少等に伴って、賑わいが薄れていきました。

玉宮通りの位置と現況



出典：玉宮通りまちづくり協定：玉宮まちづくり協議会・岐阜市

【平成2年2月22日午後2時22分にこだわりの「まちづくり協議会」がスタート！】

しかし、市は、当地区の賑わいができれば、都心の2つの拠点（駅前繊維問屋街と柳ヶ瀬商店街）が結びつき、岐阜市の都心の風格と活力を取り戻すことができると考え、平成元年から地元説明会を開催してきました。その結果、平成2年2月22日午後2時22分に地権者及び借家人94名で「玉宮まちづくり協議会」が発足し、1年間の研究の末、まちづくり協定方式による整備を決定し、平成4年に関係者の95%の賛成を得て「玉宮通りまちづくり協定」締結しました。

まちづくり協定の概要

—新築・増改築の際の主なルール—

建物用途と開口部

- 1階部分はできるかぎり開口部の多い商店などにして街の賑わいを高めましょう



緑化の推進

- 敷地内の空地には植栽を施し季節感あふれる景観をつくりましょう



前面空地

- 建物と道路の間には1.5m程度の空地を設け、通りに拡がりやゆとりをつくりましょう

共同化

- 土地の有効利用を図るため、建物の共同化に努めましょう



半地下建物

- 通り一帯の支持地盤の特徴を生かした半地下のある建物にして、個性ある街並みをつくり出しましょう



高さ・階高

- 建物の高さは隣接する建物と調和させましょう

外観・色等

- 派手なデザインや原色は使用せず、デザインの調和・統合に努めましょう



看板の統一

- 看板のデザインや色彩の統一を進め、通りの統一イメージをつくりましょう



【すてきなお店や街並が出現しています】

沿線で建築しようとする者は、専門家や行政が参加した「まちづくり委員会」に建築内容を事前に相談しますと、まちづくり委員会は、協定に基づき協議を行い、「建築計画経由証明書」を発行します。その証明書を添付して確認申請を行うこととなります。

この結果、半地下を持った建物や緑化をした建物、デザインの優れた建物が沿道に徐々に立ち始め、若者が中心に集まる通りができ、ブティックなど今までの柳ヶ瀬地区にないテナントが入店しています。

現在では、おしゃれな町になればなるほど増える「落書き」が悩みの種となっています。

【整備前】



【整備後】



【街並みと道路景観】

